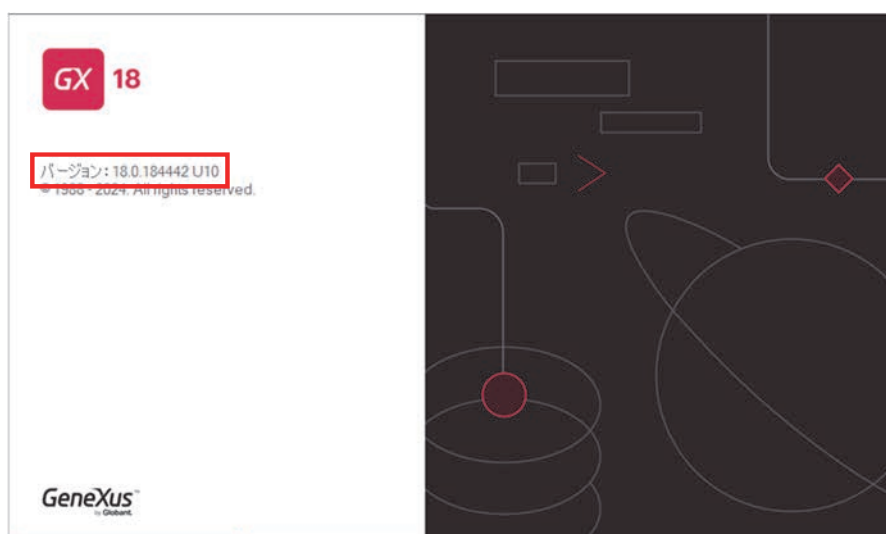


アプリケーションの作成

ナレッジベースの作成

GeneXus™

GeneXus について



ショートカットアイコンやプログラムの一覧からGeneXus を起動すると、起動画面が表示され、使用バージョンの番号が確認できます。

本コースの教材では、GeneXus 18 Upgrade 10 の画面を利用して説明を行います。ご利用バージョンによって表示や一部の機能名が異なる場合があります。

GeneXus について



起動された GeneXus は、IDE (統合開発環境) と呼ばれるこのインターフェースが表示されます。

この IDE は、ウィンドウ、ツールバー、およびメインメニューに分かれています。これらのウィンドウとツールバーの画面上の位置は、自由にカスタマイズ可能です。

たとえば、ツールバーの位置を変更したり、開いているウィンドウを閉じたり、必要とするウィンドウを新たに開いたりできます。また、ウィンドウは、ピンボタンをクリックして常に表示された状態にすることができます。このような操作を行い、開発者が利用しやすくすることができます。

GeneXus のメインウィンドウとして表示されるものの一つが開始ページです。

開始ページでは、利用可能なサンプルナレッジベースの紹介や、GeneXus に関連するトピックを検索することができます。

その他、開始ページでは、GeneXus でアプリケーションの開発を開始するためにナレッジベースの新規作成を行うことや、既に作成済みのナレッジベースを開くためのリンクが表示されます。

ナレッジベースの作成

新規ナレッジベース

名前(N): TravelAgency

場所(L): C:\KBs

基本 詳細

プロトタイプターゲット(T) ローカル

ユーザーインターフェースの言語(U) Japanese

バックエンド

プロトタイプ環境(E) NET

データソース(D) SQL Server

フロントエンド

☒ Web (.NET)

☐ Android

☐ Apple

☐ Web (Angular)

作成 キャンセル

新しい GeneXus アプリケーションの開発を開始する場合、新しいナレッジベースを作成します。ナレッジベースは一般的な開発におけるプロジェクトです。したがって、GeneXus で新しいプロジェクトを作成するには、ナレッジベースを作成します。

開始ページで「空のナレッジベースを作成」をクリックするか、メニューバーで [ファイル] → [新規] → [ナレッジベース] オプションを選択することで、「新規ナレッジベース」ダイアログが表示されます。

このダイアログを利用し、新規作成するナレッジベースの設定が行えます。

基本の設定として以下が表示されています。

名前：ナレッジベース（プロジェクト）の名前
 場所：ナレッジベースを保存するパス
 プロトタイプのターゲット：既定のデプロイ先
 ユーザーインターフェースの言語：アプリケーションの表示言語
 プロトタイプ環境：生成するプログラミング言語
 データソース：利用するDBMS
 フロントエンド：顧客向けアプリケーション/モバイルアプリケーションの生成

もちろん、既定の値から変更する必要がない場合には、そのまま作成に進むことができます。

ナレッジベースの作成

新規ナレッジベース

名前(N): TravelAgency

場所(L): C:\KBs

基本 詳細

ナレッジベースのストレージ

サーバー名(S): localhost\SQLEXPRESS

データベース名(A): GX_KB_TravelAgency

照合順序(C): Latin1_General_100_CI_AS_SC_UTF8

認証タイプ(A): Windows 認証

ユーザー名(U):

パスワード(P):

☒ ナレッジベースのフォルダ内にデータファイルを作成(T)

☒ パスワードを保存(V)

作成 キャンセル

このダイアログについてもう少し説明を続けます。
「詳細」というタブがあります。

このタブ内に表示される内容を説明する前に説明すべき点があります。
GeneXus の「ナレッジベース」は SQL Server 上にデータベースとして作成されます。
これが GeneXus のソフトウェア要件として SQL Server が含まれる理由です。

上記に基づき「詳細」タブで指定可能な内容を説明します。

このタブでは、ナレッジベースを格納するデータベース作成に関連する設定を行います。
設定可能な点として以下が表示されます。

サーバー名：データベースを作成する SQL Server のサーバー名

データベース名：作成されるデータベースの名前

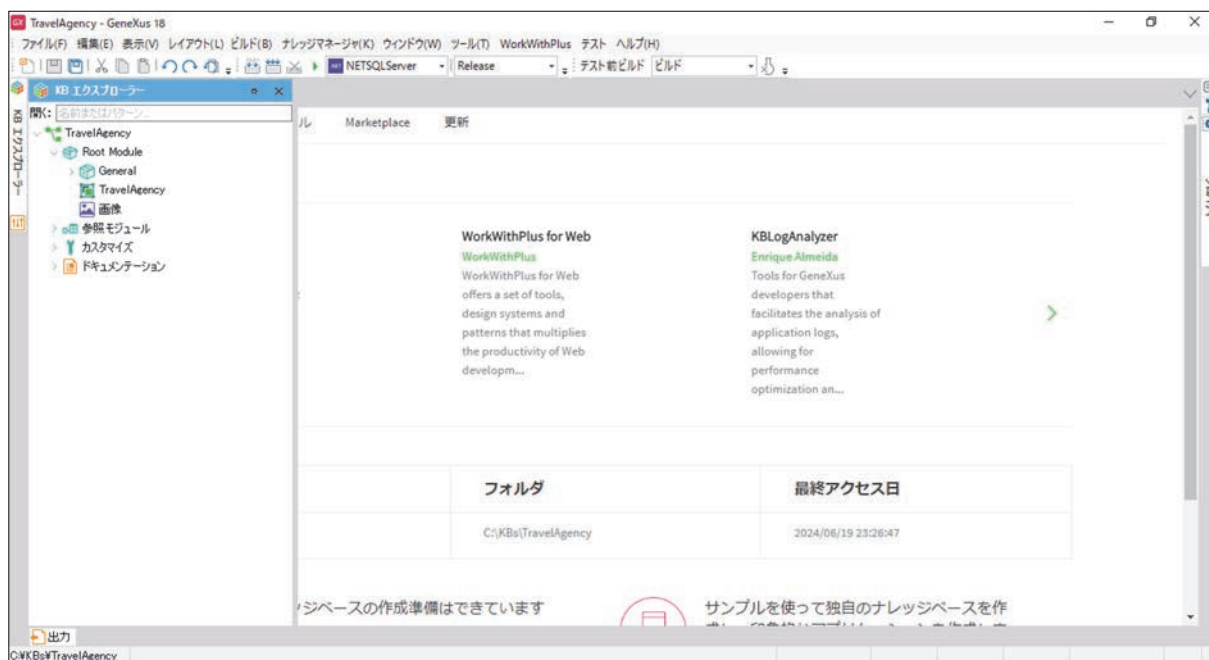
照合順序：ナレッジベースのデータベースに指定される照合順序

認証タイプ：SQL Server に接続する際の認証タイプ

ユーザー名/パスワード：「認証タイプ」が「SQL Server 認証」の場合に利用

繰り返しになりますが、ここで指定するデータベースはあくまでもナレッジベースです。
つまり、ユーザーのニーズに基づき定義した GeneXus オブジェクトを格納するための
ものとなり、生成したアプリケーションをユーザーが利用し、入力したデータを格納する
データベースではありません。

ナレッジベース作成後の IDE



ナレッジベースの作成が完了すると、IDE における一部の表示が変更されていることを確認できます。

作成したナレッジベースを開いた状態となり、現在のナレッジベースの状態を「KB エクスプローラー」ウィンドウ（既定で画面左側に表示）のツリー構造から確認できます。

*GeneXus*TM

training.genexus.com
wiki.genexus.com